

2019年3月14日

関西電力株式会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

## 次世代型低速自動走行モビリティサービス「iino」の 大阪城公園における実証実験の実施について

関西電力株式会社（以下、関西電力）および損害保険ジャパン日本興亜株式会社（以下、損保ジャパン日本興亜）は、このたび、大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成する「実証事業検討チーム」※<sup>1</sup>が募集していた「大阪城公園における実証事業」として、「iino」※<sup>2</sup>を活用した移動空間サービスに関する実証実験を3月17日から実施いたします。

今回の実証実験では、観光地での外国人観光客に向けた低速モビリティを活用したサービスの開始を見据え、『日本伝統文化×時速5キロ』をテーマに、低速モビリティ上で、茶や舞踊、和楽器を中心とした演奏などのサービスを提供します。低速モビリティと日本伝統文化を組み合わせることで、単なる移動では得られないエンターテインメント性の高い顧客体験の提供に挑戦します。

モビリティサービスについては、関西電力の「iino」を活用し、一部のルートについて自動走行を実施するとともに、損保ジャパン日本興亜による観光施設内での、自動走行計画段階における安全性向上支援（リスクアセスメント）、走行中の安全性を確保するための遠隔監視（見守り）する実証を行います。また、今回の実証実験をより安心・安全なものとするべく、完全自動運転に対応した専用保険の提供も行います。

今後、本プロジェクトは引き続き『〇〇×時速5キロ』（呼称：クロス5キロ）をテーマに、さまざまな業種とタイアップし、これまでにない新しい商品・サービスを開発してまいります。

以 上

※1：大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成され、先端技術を活用した実証実験の実施・成果普及を通じた産業振興、地域経済の一層の活性化を目的に設置されたもの。実証実験への支援は、大阪における新たなビジネス創出を目的に順次実施される予定。

※2：時速1～5キロで自動走行するモビリティを活用したサービスの提供およびモビリティプラットフォーム運用。

## 大阪城公園における実証実験の概要

## (1) 実施内容

低速（時速 1km から 5km）で移動するモビリティ上で、以下のようなコンテンツを提供し、サービス化を見据えた実証を行う。

- ① 日本伝統文化に関するパフォーマンス型のコンテンツ。（茶、日本舞踊、三味線）

＜実施場所：西の丸庭園＞

- ② 和楽器を中心とする演奏を複数台のモビリティを同時走行させるコンテンツ。

＜実施場所：西の丸庭園＞

- ③ 茶・和菓子等のポップアップ式移動販売。

＜実施場所：西の丸庭園・城南エリア・市民の森＞

## (2) 実証実験実施時期

2019年3月17日～3月21日

## (3) 実施者

関西電力、損保ジャパン日本興亜

## (4) 実施場所

大阪城公園内（西の丸庭園、城南エリア、市民の森等）

## (5) 各社の役割

＜関西電力＞

- ・モビリティ上で提供されるコンテンツの提供
- ・車両の提供、運行

＜損害保険ジャパン日本興亜＞

- ・走行計画段階の安全性向上支援（リスクアセスメント）
- ・実証中の事故に関する保険提供
- ・実証中の遠隔監視（見守り）サービスの提供

## 【実施イメージ】



**【参考】「iino」の概要****■事業内容**

時速1～5キロで自動走行するモビリティを活用した、サービスの提供およびモビリティプラットフォーム運用。

**■提供価値**

時速1～5キロの特性を活用し、心理的・身体的なリラックス状況の創出、五感機能の拡張など、利便性以外の価値を提供。

**■ターゲット**

(B to C)

- ①都市を内を移動する方のうち、目的地が決まっておらず、回遊を目的としている方
- ②モビリティプラットフォームに置かれるサービスを利用する方

(B to B)

- ①サービスが導入されるエリアの運営事業者や店舗
- ②モビリティプラットフォームにコンテンツを搭載したい事業者

**■ターゲットエリア**

道路交通法が適用されないすべての場所\*。

※例 商業施設の敷地内や遊園地等のリゾート施設の敷地内

**■ビジネスモデル**

コンテンツ利用料、プラットフォーム利用料、広告宣伝料。

**■今後の計画**

2019年度から様々なサービス実証をおこない、有用性を確認できたものから順次サービスを開始する予定。

